

郷土にまつわる歴史講座
(協力..明治文庫の会)

中世の讃岐武士

—生駒時代の讃岐—

歴史ライター

講師 村井眞明氏



日時 令和8年9月17日(木)

午後1時30分～3時

場所 マルタス1階多目的ホール

定員 60人 ※予約不要・先着順

料金 無料

問合せ 丸亀市立中央図書館

TEL0877-22-3746



生駒時代の讃岐

長宗我部元親の侵攻後、讃岐は仙谷、尾藤氏を経て生駒時代に入る。この間、日本史は、朝鮮出兵・関ヶ原の戦い・江戸幕府の成立・大坂の陣と、豊臣から徳川の時代へと移っていく。一方、讃岐では高松・丸亀に城下町が築かれるとともに、新田開発やため池の新改築が進められ、現在の香川の礎が整う。本講座では、現在、NHKで放映中の「豊臣兄弟」の時代における讃岐の歴史をまじえながら、中世から近世への移行期といえる生駒時代について説明する。

講演者プロフィール

昭和26年、多度津町生まれ
丸亀高校・京都大学法学部卒業

元香川県観光交流局長

著書：「栗林公園と歴代藩主」、「物語 中世の讃岐武士」